

公益社団法人 上伊那教育会 第2回 総会

期日：令和4年6月16日（木） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』DVD視聴
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会常任委員会報告
- 5 議事
 - (1) 第1号議案「令和3年度上伊那教育会事業報告の承認」に関する件
 - (2) 第2号議案「令和3年度上伊那教育会決算報告の承認」に関する件
 - (3) 第3号議案「いなっせビル長期修繕に係る引当資産の積立」に関する件
- 6 諸連絡
- 7 前上伊那教育会長、退任理事、監事への感謝状記念品贈呈
- 8 閉会の言葉



感染防止のため、総会への出席者を各学校1名に限定しましたが、3年ぶりに全学校の代議員が出席して総会を開催することができました。

浦山哲雄 会長 挨拶

共に集い 共に学び続ける ～学び合う楽しさを～

今回は久しぶりに、各校1名の代議員の皆様にお集まりいただき、第2回総会を開催できまことを嬉しく思います。ご多用の中、ご参集いただき、ありがとうございます。

去る5月18日の上伊那教育会総研修会は、昨年に引き続き、オンラインでの開催となりました。総研修会のお二人の会員による発表は、教育会の取組を知っていただく機会となり、池谷裕二さんの講演は、大きな示唆をいただけるお話になったのではないかと思います。来年度こそは合唱団の素敵な歌声をお聞きできる状況になることを願ってやみません。開催にあたり、代議員の皆様はじめ多くの会員の皆様にご尽力いただき、無事開催することができましたことを心から感謝申し上げます。

さて、教育会の事業ですが、6月24日に、講師の先生方を対象にした「上伊那教育の未来を語る会」を行います。これは新しい事業です。7月3日には郷土研究講習会、本年度は上伊那郷土研究室開室10周年記念の会を兼ねさせていただきます。7月13日は県内教育関係機関研修、長野市の裾花小学校と東部中学校で教科担任制、学年担任制を中心に両校の実践から学ばせていただきます。

また三大研修「哲学研修、文学研修、授業研修」も充実した活動を行っています。どの研修も先生方が、求める心を持って積極的に参加してくださっています。コロナ禍ではありますが、できる限り参集の形を考え、「共に集い 共に学び続ける、そして学び合う楽しさを」感じられる研修をめざしていきたいと思います。（要旨）

議 事

(1) 第1号議案「令和3年度上伊那教育会事業報告の承認」に関する件

原浩範副会長が提案、質問・意見を受け、採決を行い、賛成多数で承認されました。

(2) 第2号議案「令和3年度上伊那教育会決算報告の承認」に関する件

藤澤副事務局長が提案、小島諭監事の監査報告後に、質問・意見を受け、採決を行い、賛成多数で承認されました。

(3) 第3号議案「いなっせビル長期修繕に係る引当資産の積立」に関する件

飯澤事務局長が提案、質問・意見を受け、採決を行い、賛成多数で承認されました。

諸事業についての意見交換

【鈴木智春会員（西箕輪小）】

郷土研究部美術委員をやらせてもらっています。夏休み体験スクールは、親子で参加する絵手紙教室が毎年盛況で、参加した児童は笑顔で満足顔です。保護者からも感謝され、地域に開いた活動として位置づいていると思います。

一方で、上伊那教育会が所蔵する美術工芸作品を展示する展覧会は、苦勞の割には足を運んでくださる方が少ないです。委員会の構成メンバーも高齢化していますし、教員の働き方改革が話題になる中ではありますが、より多くの先生方に関っていただけるよう声を上げていきたいと思っています。



【伊藤尚哲会員（宮田小）】

先の「仰望の日」では、郷土研究部地質班の発表がありました。会員のみなさんが郷土研究室の活動を知る機会ができたと思います。

午後の教科等教育研究会は、学校を超えた仲間と教科について語り合う機会となりました。私は、社会科教育研究会に参加しました。参加者からも充実した会であったと聞いています。

ここ数年はズームで行われている「仰望の日」ですが、会員が一堂に会して行えるようになることを祈っています。



前会長・理事・監事ご退任 感謝状および記念品の贈呈

前会長、退任理事、監事の先生への感謝状および記念品の贈呈を行いました。それぞれのお立場で教育会に多大なる貢献をいただいた皆様に感謝の気持ちをこめながら、感謝状及び記念品をお贈りしました。以下、ご退任のご挨拶（要旨）

【原文章前会長】

3年ぶりにこうして総会に人が集まることができ嬉しいです。先ほどは令和3年度の事業報告、決算報告を承認いただきありがとうございました。コロナ禍ではありましたが各委員長が良く考えてくださり、会員が「学びを深め」「人と繋がれた」「自分を磨くことができた」という大きな成果をあげることができたと思います。

一年間本当にありがとうございました。



【林武司前理事】

若いころから様々な活動で上伊那教育会に教師として育てていただきました。「明日の子どもたちの笑顔のために教師が力量を高める」、そのために学び続ける教師でありたい。上伊那教育会に脈々と受け継がれている「子どもからの出発」「たゆまぬ教師の研鑽」「土着性」。

上伊那教育会は学びたい教師に伝えてくれます。学び続ける価値を若い先生方に引き継いでください。



【竹村勝前監事】

会計監査や教育会の諸問題について、4年間、理事会で共に考えさせてもらいました。この素晴らしい会館は県下で上伊那がトップだと思います。この環境を維持するために事務局の先生方がどれ程ご苦勞されているか身に染みて感じました。皆さんの力で課題を一つ一つ克服して、今後さらにこの上伊那教育会を発展させていただけるようお願いします。



原浩範 副会長 閉会の言葉

上伊那教育会では、感染拡大防止対策を取りながら研修会を進めております。5月末には、哲学研修と文学研修の第1回読み合わせ会をオンラインで行いました。本年度初めての試みでしたが、ブレイクアウトルームの機能を活用しながら、グループごと語り合い学び合うことができました。どちらの読み合わせ会でも、グループでの話し合いが行われ、若い先生から中堅・ベテランの先生までが、叙述に触れたり自分の経験と重ね合わせたりしながら熱く語っておられました。今年のキャッチフレーズにある「共に学び続ける」姿が、そこにはありました。また、新入会員歓迎研修会では81名の新入会員の先生方にご参加いただきました。

依然、先の見通せない状況にはありますが、「研修を止めない」との願いのもと、オンライン配信等も有効活用しながら、感染防止対策をしっかりと取り諸事業を可能な限り実施してまいります。教育会事業に積極的に参加できますよう、代議員の皆様には声掛けを是非お願いいたします。共に学び続けていきましょう。（要旨）